

With

J A 愛知厚生連広報誌

TAKE
FREE

秋

2025.Autumn

【No.507】



病院特集

**江南厚生
病院**

特集

**職員の教育体制をリニューアル
ー ウェルビーイングの実現に向けてー**

職員の教育体制を

リニューアル —ウェルビーイングの実現に向けて—

J Aグループ愛知ではウェルビーイング活動のひとつとして「**職員が働きがいや成長を実感できる職場づくり**」を目指しています。令和6年度から人材育成準備室が中心となって、職種ごとに新たな教育体系の整備を進めています。今回は**診療放射線技師、医療ソーシャルワーカー**を中心に紹介します。

人材育成準備室より

専門職に必要なテクニカルスキルと医療人としてのノンテクニカルスキル（コミュニケーション能力等）を兼ね備えた人材を段階的かつ着実に**育てていくことを目指しています**。

人材育成準備室長
山本 美奈子さん



人材育成理念と目指す人材像に基づく
各職種の“求める人材像”が形になりました！

JA愛知厚生連の人材育成理念

「地域医療を守り抜く。」という使命を担い、自ら考え行動できる「自律型人材」を育成します。

目指す人材像

- 01 医療人として成長し続ける人
- 02 チームワークを重視して仕事ができる人
- 03 変化に柔軟に対応できる人

職種ごとの目指す人材像

診療放射線技師

- 01 人々の安全・安心・安楽を意識しつつ根拠に基づく正確な画像検査（放射線・MRI・超音波）・放射線治療を実践することができる
- 02 ALARAの原則に基づき、医療被ばく線量を低減し、放射線機器の精度管理と厳正な放射線管理ができる
- 03 社会および医療情勢の動向を先読みし、診療放射線技師としての使命を果たすことができる
- 04 自ら学ぶ意欲を持ち、新たな課題や困難な問題にも前向きに挑戦できる

医療ソーシャルワーカー（MSW）

- 01 身体的・精神的・社会的問題の解決および調整、だれ一人取り残さない多様性と包摂性のある社会の実現に貢献できる
- 02 社会および医療情勢の動向を先読みし、医療ソーシャルワーカーとしての使命を果たすことができる
- 03 自ら学ぶ意欲を持ち、新たな課題や困難な問題にも前向きに挑戦できる

職種ごとに段階別到達目標の作成

診療放射線技師

Radiological technologist

REPORT ラダー作成の進行状況

診療放射線技師の教育担当者会議では、厚生連診療放射線技師会が作成した「教育用ラダー」と日本診療放射線技師会が提唱する「生涯教育システム」をもとに新ラダーの構築を進めています。

PICK UP 「キャリア開発実務研修」の導入

自己の課題解決を目的に他事業所への見学研修を独自に実施しており、新ラダーでは「個人のキャリア開発支援」を実現するために、この見学研修を「キャリア開発実務研修」とし、**他職種も活用できる**仕組みを構築しています。



患者さんに対して、家族に接するような温かな対応ができる人を育てたいです。

豊田厚生病院 椿原 隆寿さん



指導者に聞く!! 今後の人材育成

ラダーを運用すると個人のレベルが可視化できるようになります。指導者が個々の職員的能力より少し難しい課題を提示することで、自律的に学ぶ環境を作っていきたいです。

豊田厚生病院 深田 真司さん



REPORT ラダー作成の進行状況

医療ソーシャルワーカーの教育担当者会議では、各事業所で作成した教育プログラムや課業一覧表をもとに行われてきた職場内教育を活用し、新ラダーの作成に取り組んでいます。

PICK UP 初任者の研修に 厚生連としての総合力を発揮

職員数が少数であり、**教育を十分行う時間やマンパワーに限界**があります。各事業所には講師を務めることができる職員が複数在籍しているため、**全事業所合同で初任者の研修が実施できる**包括的な教育プログラムの構築を目指しています。



ラダーを通じて自分を振り返り、成長につながる新たな目標を見つけてほしいです。

豊田厚生病院 八木 隆太さん



指導者に聞く!! 今後の人材育成

ラダーを活用して偏りのない教育ができることを期待をしています。全事業所が協力し、質の高い教育体制で職員を育てていきたいです。

足助病院
長谷川 支保さん



医療ソーシャルワーカー（MSW）

Medical Social Worker

二次骨折を予防する!

骨粗しょう症
リエゾンチーム

江南厚生病院の骨粗しょう症リエゾンチームは設立から3年目を迎え、活動の場を院内だけでなく地域にも拡大してきました。整形外科医、歯科医、看護師、診療放射線技師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、相談員、事務員がそれぞれの役割を発揮して二次骨折を予防し、骨折の連鎖を断ち切ることを目指しています。これらの取り組みを日本骨粗鬆症学会が推奨する5つの要素「5i」に沿ってご紹介します。

「5i」に沿った二次骨折の取り組み

STAGE
01identification
対象患者さんの特定

大腿骨近位骨折の入院患者さんすべてに骨粗鬆症の評価を行います。治療が必要と判断された場合は、チームが介入し治療へと繋げていきます。



▲毎月1回、骨粗しょう症リエゾン支援委員会で支援状況を共有します。

STAGE
02investigation
二次骨折リスクの評価

骨粗鬆症は脆弱性骨折の有無と骨密度から診断します。骨密度測定、X線検査、骨代謝マーカーの測定を行い、総合的に評価します。



▲X線検査による骨密度測定

STAGE
03initiation
投薬を含む治療の開始

服薬指導

患者さんに合わせた骨粗鬆症治療薬の提案を行い、**治療継続のために服用方法や副作用の対策を丁寧に説明**しています。骨折を繰り返さないように治療の第一歩を支えられることにやりがいを感じています。

薬剤師
城山 晴佳さん

栄養指導

入院中の栄養管理、栄養指導を担当しています。自宅での食事内容の確認や、**骨折を繰り返さないために必要な栄養を摂り入れた食事の提案**などを行い、食事の面で患者さんの健康維持・増進に貢献できるよう、日々努力しています。

管理栄養士
長谷川 琴音さん

運動指導

骨粗鬆症予防に効果的な運動指導を入院時から退院時まで継続的にを行い、**自宅で一人でも行うことができるよう、一人ひとりに合わせて提案**します。理学療法士は安心して暮らせる体づくりを支えています。

理学療法士
渡邊 創也さん

高齢化が進む中で骨粗鬆症による骨折は年々増加しています。骨折の治療だけではなく、骨粗鬆症治療による二次骨折の予防を推進することで**患者さんの健康を守りたい**という思いから骨粗しょう症リエゾンチームが設立されました。チーム設立後は骨粗鬆症の治療開始率が飛躍的に向上しており、骨折の治療後も骨粗鬆症の治療を継続できるよう長期的なサポート体制の強化に取り組んでいます。

整形外科 第四整形外科部長
大倉 俊昭 さん

日本専門医機構認定 整形外科専門医
日本人工関節学会 認定医

Keyword

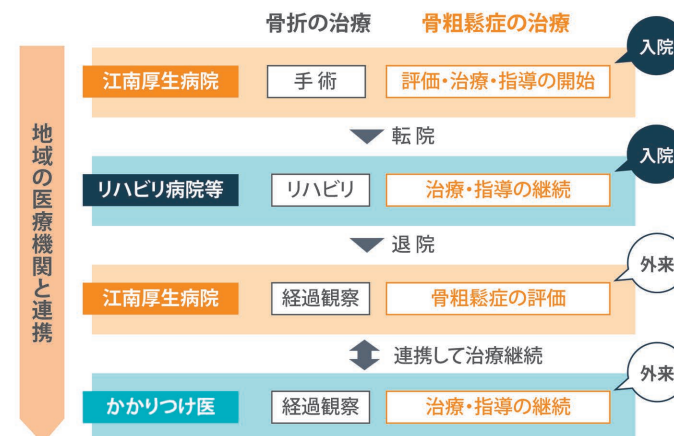
リエゾン……フランス語で「つなぐ・連携」という意味

二次骨折……既存骨折がある患者さんに新たに起こった骨折

脆弱性骨折……骨の強度が低下し、わずかな外力で生じる骨折

STAGE
04integration
患者さんのフォローアップ

地域の医療機関と連携しながらフォローアップを行います。

STAGE
05information
患者さんと医療従事者への
教育と情報提供

高齢者の転倒や骨折を防ぎ、健康寿命を延ばすことを目的として、2022年度より当院と各市町村が連携し、骨折予防講座を開催しています。



▲整形外科医、リハビリ技師、管理栄養士が出張し講演等を行っています。

TOPICS

病院公式Instagramで
骨粗鬆症予防の発信開始

地域の皆さんに骨粗鬆症の予防や治療について気軽に知っていただけるよう、病院Instagramの中で情報発信を開始しました。ぜひご覧ください。

江南厚生病院
Instagramは
こちらから

10月20日は
世界骨粗鬆症デー

1998年に国際骨粗鬆症財団 (IOF・本部スイス)と世界保健機構(WHO)が共同により骨粗鬆症と骨代謝障害の啓発を目的として制定されました。「世界中から骨粗鬆症による骨折をなくす」ことを目標に世界規模でキャンペーンを展開しています。

イメージカラーを用いた「ブルーライトアップ」などのイベントが開催され、各地で骨粗鬆症の予防を呼びかけます。

TOPICS
7~9月

Hot Topics

JA 愛知厚生連のホットな取り組みをご紹介します

7/15 老人介護保健施設あおみ

介護福祉士が日本福祉大学の健康科学部のゲスト講師に招かれました。

7月15日、介護老人保健施設あおみ（以下老健あおみ）の介護福祉士がゲスト講師として日本福祉大学半田キャンパス健康科学部2年生の学生さんたちに講義を行いました。「内部障害のある利用者の介護の実際」というテーマで膀胱留置カテーテルや人工肛門（ストーマ）等に配慮した事例の多職種連携について紹介し、グループワークを行いました。学生さんからは質問も多く寄せられ、老健あおみの職員も学生さんの探究心に刺激を受け、貴重な機会となりました。



7/17 足助病院

20カ所の地域を巡回する「へき地巡回健診」を開始しました。



7月17日、足助病院は毎年実施しているへき地巡回健診を開始しました。今年は7月から10月までに20カ所の地域を巡回する予定です。地域の公民館や集会所に病院職員が訪問し、血液検査や尿検査、血圧、体組成測定を行っています。その他にも研修医による講話を行っており、初回の巡回時には熱中症についてお話ししました。また、医師や保健師と直接話ができる健康相談では、参加者のみなさんが病気や健康に関する日頃の悩みを気軽に相談していました。

8/2~3 安城更生病院

第72回安城七夕まつりにブースを出展しました。

8月2~3日、安城更生病院は第72回安城七夕まつりに2つのブースを出展しました。「心電図相談」のブースでは、心電図測定や検脈指導などを行い、不整脈の早期発見と予防を呼びかけました。「片頭痛」のブースでは、頭痛が日常生活に及ぼす影響や近年進化している片頭痛の治療法を紹介し、片頭痛に悩まされている方の日常生活の質の改善を目指して啓発活動を行いました。ブースには多くの人が訪れ、身近な病気について理解を深めていただく機会となりました。



8/25 海南病院

第14回ギフティッドたちの作品展を開催しました。

8月25日、海南病院は「ギフティッドたちの作品展」を開催しました。この作品展は今年で14回目を迎え、人とのコミュニケーションが苦手であっても、絵や工作、動画などを通じて生き生きと表現する患者さんたちの作品を紹介してきました。今年は約50名の方が来場され、さまざまな表現方法で作られた作品の一つひとつじっくりと鑑賞していました。作品には紹介文が添えられており、作り手の熱意がより一層伝わりました。



9/2 稲沢厚生病院

市民公開講座を開催しました。



9月2日、稲沢厚生病院は「あなたに合った検査データのみかた」というテーマで市民公開講座を開催しました。気になる症状がある時に検査データのどの項目を見ればよいのか、臨床検査技師が一つひとつ丁寧に話ししました。参加者から多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。また、理学療法士によるミニ講座「膝の痛みと予防について」では膝の痛みの原因となる変形性膝関節症について紹介し、自宅でできるストレッチを参加者のみなさんと一緒に行いました。

夏休みに子ども向けイベントを開催しました。

病院の仕事に興味を持ち、将来医療業界で働きたいと思ってくれるお子さんが一人でも増えることを願って、知多厚生病院と渥美病院では子ども向けの体験イベントを開催しました。

8/1・4 知多厚生病院

「中学生医療体験」を開催

知多厚生病院は「中学生医療体験」を開催し、2日間で50名の中学生にご参加いただきました。生徒たちは、縫合体験やゼリー食作り、内視鏡の操作体験など8つの内容を体験しました。縫合体験では「指がつりそうなくらい難しい。」という声も聞かれましたが、医師に教えてもらいながら真剣に取り組んでいました。



▲医師から縫合技術を学ぶ

▲ゼリー食を作る様子

8/2 渥美病院

小学生向け「院内探検ツアー」を開催

渥美病院は「院内探検ツアー」を開催し、小学生17名と保護者の皆さんにご参加いただきました。子どもたちは、普段目にする事のない病院の内部を見学し、手術室体験や電気メス体験、薬の調剤体験、顕微鏡体験などを行いました。薬剤室では、粉末と水を正確に計量してスポーツドリンクを作る体験が大好評でした。



▲手術室体験

▲薬の調剤体験

JA 愛知厚生連のニュースは随時配信中

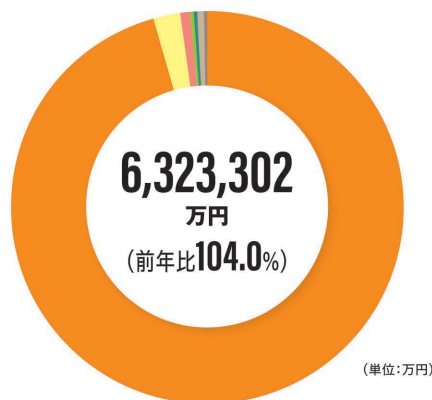
Webサイトはこちら



Instagramはこちら



事業実績



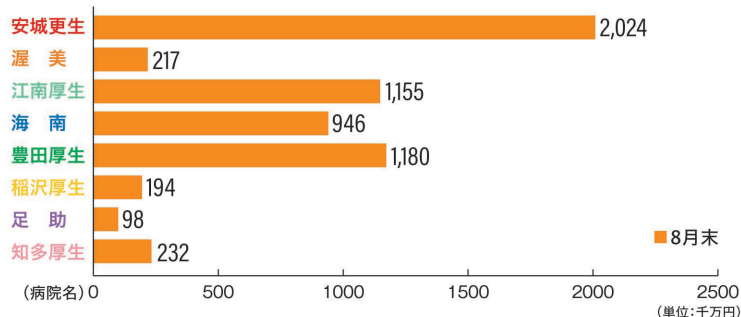
事業実績(8月末)

- 医業収益(除保健予防活動収益)
6,045,688(前年比104.2%)
- 保健予防活動収益
149,262(前年比98.9%)
- 老健施設運営収益
55,287(前年比105.2%)
- 介護医療院運営収益
9,927(前年比103.1%)
- 訪問看護収益
25,962(前年比99.5%)
- 老人福祉事業収益
28,518(前年比101.6%)

病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数 通計
安城更生 (771)	外来	185,709
	入院	110,962
渥美 (316)	外来	56,539
	入院	34,858
江南厚生 (630)	外来	140,495
	入院	85,942
海南 (540)	外来	121,687
	入院	77,004
豊田厚生 (606)	外来	131,725
	入院	83,120
稲沢厚生 (225)	外来	57,002
	入院	29,737
足助 (148)	外来	24,495
	入院	16,449
知多厚生 (199)	外来	56,316
	入院	28,672
JAあい健診センター	外来	82
	入院	
合計 (3,435)	外来	774,050
	入院	466,744

病院別診療収入



JA愛知厚生連の事業所

各事業所のInstagramはこちら



秋

JA愛知厚生連広報誌「With」 No.507 発行日/2025年10月1日 発行/愛知県厚生農業協同組合連合会

編集/本部 企画管理局 経営企画部 TEL 0561-62-3162 本誌に掲載されている内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

ともに、守り抜く。
JA愛知厚生連

Webサイト

